

「スーパークラゲ」が2016年5月27日（金）東京新聞茨城版に掲載されました！

みずき野町内会のボランティアの皆様が制作されたスーパークラゲが子供たちの人気を集めていると紹介されました。

東京新聞茨城版

2016年5月27日（金）

エア遊具 ドーンと5分 「スーパークラゲ」人気

守谷の町内会 手作り

守谷市みずき野のみずき野町内会（佐々木保昌会長、2000世帯）の住民有志が、市販されている材料を集めて手作りした、空気で膨らませるドーム型のエア遊具「スーパークラゲ」が子どもたちの人気を集めている。

町内会は世帯数こそ変わらないものの、最盛期に8000人を超した住民も、今では6000人ほどに。少子高齢化の波



地区住民が手作りし子どもたちに人気のスーパークラゲ＝守谷市で

で、子どもの数は激減し、町内会のイベントに参加するのは中高年やお年寄りばかりという状況だった。そこで、子どもたちに集まってもらうため、着

目したのが遊園地などで人気の、ふわふわのエア遊具だった。

早速、ホームセンターで、農業ハウス用の合成樹脂フィルム、梱包用の粘

着テープ、送風機2台を計8万円で購入。フィルムを裁断して粘着テープで張り合わせ、縦横5分のドーム2個を制作した。直径1分、長さ3分の2つのトンネルでつなぎ合わせて完成させた。

スーパークラゲは今年22日、地区のイベントで、みずき野中央公園にお目見えした。中に色とりどりの風船を入れ、2台の送風機で膨らませると、待ちかねた子どもたちが次々とドームの中に。トンネルをくぐってドームを行き来するなど、歓声をあげて飛び回っていた。
東京新聞
2016.5.27 (坂入基之)